

子どもたちには未来を！ 高齢者にはいきがいを！ 家庭には笑顔を！ 地域には絆を！

吉浜まちづくり協議会

第18回 通常総会



令和7年4月29日

吉浜ふれあいプラザ2階



吉浜まちづくり協議会

<https://www.yoshimachi.net/>

吉浜まちづくり協議会



まちづくり協議会とは

地域の住民に開かれた組織で、地域の課題を話し合い、解決する組織です。

まちづくり協議会は小学校ごとにあり、
その地域内に所在する町内会他の市民、団体の参加を得て活動しています。

通 常 総 会 次 第

- 1、開会のことば
- 2、会長あいさつ
- 3、定足数の確認
- 4、議長選出

規則第22条により、出席メンバーの中から選出するとある。

議長登壇あいさつ

議事録署名人指名(2名)

議 事

第1号議案	令和6年度事業報告について	P1～13
第2号議案	令和6年度収支決算及び繰越金処分について	P14～15
	資産報告	P16
	監査報告	P17
第3号議案	令和7年度事業計画(案)について	P18～31
第4号議案	令和7年度収支予算(案)について	P32～33
第5号議案	令和7年度役員改選について	P34
報告事項	退任役員 令和7年度事務局 構成団体等	P35～36

議長降壇あいさつ

- 5、来賓あいさつ

高浜市長	吉岡初浩	様
市議会議長	杉浦康憲	様
県議会議員	柳沢英希	様

- 6、閉会のことば

[1]子どもの健全育成に関する事業（事業所管:子どもグループ/ GL:内藤 尚仁 Gm:10名)					第2次地域計画 キャッチフレーズ	子どもが夢をもち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま	
事業報告							
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真
1	1	あいさつ・声掛け活動 目的 学童生徒の「おはよう」の挨拶運動と交差点での交通安全を図る	小学校登校日の5・15・25日 30分間(交差点毎に時間設定)	・八幡社北側 ・八幡町4丁目 ・屋敷町 ・芳川町 ・吉浜交流館西 ・幼稚園南入口 ・吉浜保育園東 ・吉浜小西側押しボタン信号	校区内の8ヶ所の交差点に立ち、登校する吉浜小児童、高浜中生徒におはようの声掛けをすると共に、交差点横断中の交通安全を見守り活動 4月～3月 16回 延べ 176人	・交差点で誘導する事で、車の減速にもつながっており、安心な横断効果がえられている。 ・当番協力者、高齢での減少もあり新規協力者必要。 ・あいさつが定着してきており、児童からの声かけも増えてきている。	
1	2	吉浜小学校通学路確認 目的 小学校の新入学児童への通学路の情報事前提供	2月初旬 小学校入学説明会資料配布	紙面での展開	4月吉浜小学校に入学する園児を対象に通学中の不安箇所の情報を事前に提供し、親子で確認する機会をもていただく	・紙面だけの展開になっており、事業活動となっていない。 ・今年度までの取組みとし、次年度以降は方向性整理して取組み。	
1	3	夏休み子ども講座 目的 知識、技能を持った地域の方々を講師に各種講座を開催し、児童の自己啓発を図る	7月31日 8月3日 8月4日 8月10日	ふれあいプラザ 丸市 ふれあいプラザ ふれあいプラザ	・手芸講座 6名 ・鬼瓦講座 6名 ・シャインアート講座 9名 ・タイルコースター講座 5名	・地域産業の講座開催が出来、地域の事を知っていただく機会になった。 ・参加者が少人数の講座もあり、実施内容の見直し必要。 ・子どもが地域の事を安心安全と思う講座の取組みも検討していく。	
1	4	地域のことを知ろう 目的 学区地域行事の情報を児童へ配信して、各行事への参加と地域活動の理解の促進	未実施		紙面展開実施予定したが、実績発信なし	・紙面展開での活動予定だったため、事業内容に合っていない。 ・今年度までの取組みとし、次年度方向性を整理して対応。	
1	5	みんなで子どものことを考える 目的 地域計画で立案された内容を具現化に向け検討する	年間	ふれあいプラザ	定例会にて、実施内容を検討 ⇒児童会との交流を持ち、児童会メンバーとの打合せに実施内容整理	・1-6内容をメインに打合せの為、次年度は1-6と統合して取組む。	
1	6	子どものやってみたいと思うことを考える 目的 子どものやってみたいこと、やらせてみたいことを検討し、実行できる場を提供し、将来について考える機会とする	打合せ 11月16日 12月14日 1月18日 実施日 1月25日	ふれあいプラザ ふれあいプラザ ふれあいプラザ 小学校グラウンド	児童会役員が中心となって考えるイベントの打合せ 玉入れ、リレー、ビンゴ、ポッチャ、クイズを実施 参加者 児童 98名 園児 6名 幼児 2名 保護者 14名 協力者 10名	・子ども（主に児童会役員）の意見を中心に取組み、子どもたちが役割分担して進めることにより、事業計画に合った取組みができた。 ・次年度も継続していく。	 

[2]高齢者のいきがい創出に関する事業（事業所管:高齢者グループ/ GL:加藤 康二 Gm:13名)			第2次地域計画 キャッチフレーズ	子どもが夢をもち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま
--	--	--	---------------------	---------------------------

事業報告							
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真
2	1	深め合い -1 ウォーキング 目的 普段の生活の中で、 できるウォーキング を仲間と共に会話を しながら歩くことに より、健康的な体づ くり、体力の維持を 図る	第2・4土曜日	小池・人形コース 神明・海岸コース 各約40分	毎回約40分程度で、コースを変えて地区内4コースを歩く。参加者は 自生地木コタッチを登録し、健康年齢の向上を図る。 《報告》 年間の締めくくりとして、ウォーキング大会を開催。 ・ 早朝健康ウォーキング（ゴミ拾いを兼ねる） ・ 月2回、年24回（内1回は雪で中止） 延べ 237名 ・ 桜の開花に合わせて、コースを変更して実施 3月30日 大山公園 11名	・ 気候の変動が著しく（夏暑く・冬寒い）高 齢者には体力的にきつい。 ・ 歩くことにより、体力維持ができ、昨年に 比べても参加人数が大体同じ。 ・ 参加者の体力に合わせて継続する。	
		-2 井戸端会議 目的 外出するきっかけを つくり、人とふれあ いカラオケで歌い、 体を動かすことに より健康で生きがいの ある生活を楽しむ	折り紙教室 第3水曜日 カラオケ 第2・4月曜日 グランド・ゴルフ 毎週木曜日	ふれあいプラザ よしはま交流館 小池グランド	地域の高齢者を対象に、折り紙・カラオケ・グランド ゴルフなどの活 動を実施する。会員相互の交流を図ると共に、カラオケ発表会・折り 紙展示・子ども折り紙教室等を実施し、子どもたちと交流を図る。 講師の指導を受け、細かいパーツを折り紙で作 土台に貼付け作業 11回 延べ 53名 新曲の練習 会員同士で歌い方の評価・歌唱力の向上を図る 24回 延べ 120名 体を動かし、健康維持を図る。 愛好者同士の交流を通じ、仲間同士の絆を深める 44回 延べ 415名 （8月は暑さのため、全休）	・ メンバーの高齢化と減少により事業の見直 しを図る。	 
		-3 グランドゴルフ大会 目的 各グランドゴルフ団 体との交流を兼ねた 大会として実施し、 地域の活性化とつな がりを図る	11月23日	小池グランド	吉浜地区グランドゴルフ愛好者の交流の場として、まち協主催のグラ ンドゴルフ大会を開催。 《報告》 11月28日(休) 小池グランド 8ホール4回 参加者・・・18名 優勝 加藤 隆子 2位 黒柳 茂 3位 内藤 美鈴江	・ 地元の愛好者に交流の場の設定。 ・ 定例会とは違い真剣みをもって戦う中で技 術とコミュニケーションの向上を図ること ができた。 ・ 他団体との協業も視野に入れて活動する。	
2	2	お互いじゃんネット 目的 高齢者の日常的困りごと の相談を受け、お手伝 いをして、互いに助け合 う地域を作る	通年	吉浜地区全域	地域福祉の見守りから漏れやすい高齢者（日中独居者）の見守りと、 高齢者全体の困りごと相談活動を実施 高齢者が安心して住めるまちづくりを進める。 《報告》 5月 困りごと相談のチラシ作成完了 7月 チラシを置くお店訪問とお願い 《実績》 7月～2月の間に8件の相談および依頼事あり（別紙参照）	・ 実施範囲の再検討を要する。	

[3]伝統文化の発展に関する事業（事業所管:伝統文化グループ/ GL:村瀬 修 Gm:12名)				第2次地域計画 キャッチフレーズ	受け継ごう 伝統文化 育てよう未来		
事業報告							
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真
3	1	菊1本でまちづくり 目的 高浜市の花である菊を植え育成することで菊に対する愛着が持たれ、それを菊まつりに出展することで、まつりを盛り上げ多くの市民に見ていただける	4月～11月 10月～11月	小池農園 吉浜小学校 4幼・保園 高浜中学校 一般市民宅 菊花展会場	小菊苗づくり 2700本 5月 鉢植え 6月 プランター植え 6月 正門東花壇定植 7月 里親菊 大菊・中菊・スプレー菊 小池畑定植小菊(赤・黄・白)600本 吉小緑化委員22名×3鉢＝66鉢 中・小菊 計180本 中菊 3色 160本 3鉢セット 60組 応募者に7/14引渡し11/1受取 1番館東駐車場 菊花展会場 ・吉小5、6年緑化委員の菊鉢 ・里親の菊鉢	今年は特に猛暑となり、菊の生育が悪く、菊まつりの頃には未だ蕾の状態で開花していなかった。 畑づくり、苗づくり、定植、育成管理と作業量が多く、半年と長期間渡り、生き物を自然環境の中で育てることは大変。（連作障害も大きな課題である） 次年度で どこまでの範囲を実施するか、事業の見直しが必要。	
3	2	こども菊人形づくり 目的 ふる里の誇りある菊人形を児童、園児と共に作成し、楽しみながら菊花や伝統文化の情操を図る	6月～11月	小学校 4年生 制作 人形工房	菊人形用小菊畑定植 6月 講座 テーマ「吉浜の菊と人形のこと」と歴史 講師:伊藤学芸員 4年生テーマ「よさこいソーラン」4体 胴殻制作工房 菊付け小学校 4幼・保園 「ちいかわ」 5体 胴殻制作工房 菊付け幼保育園 11月菊まつり展示 人形工房 プラザ前特設会場	菊人形のテーマは、学校、幼保園で決めてもらい、胴殻等はメンバーで作り、菊付けは、4年生が総合学習の時間内で行う。子どもたちは大変楽しそうに作業はするし、学校からも1つのものを協働することはあまりないとのことで好意的に受け入れられている。 課題として、夏休み中の菊育成管理が難しくなっている。	
3	3	菊アートづくり 目的 菊人形とは別に一般市民が参加できる形で作品作りと展示で菊に親しみ、菊まつりを盛り上げる。	10月～11月	準備 人形工房 展示 1番館	制作 菊まつり展示会場 11月1日、2日 菊まつり開期11月2日～10日 制作参加 高浜高校Aチーム 「月と太陽」 高浜高校Bチーム 「ウェディング」 JA吉浜チーム 「マイマイちゃん」 吉浜小学校チーム 「吉浜 元気」 生け花教室チーム 「源氏物語/月と兎」	参加者は、平日ほどで制作出来るし、出来栄もよく、来場者からの反応もよい。ただ生き物を相手の為事前準備や制作指導をはじめ、まつり期間中も毎日水やり等作品の維持管理は大変である。 課題としては、その管理をいかに軽減するか改善が必要。菊人形と違って特別の技術が必要なく、見ごたえのある作品が出来きことは今後進化していく。	
3	4	本格菊人形づくり 目的 「菊師の里」として知られた我まちとして、菊人形制作技術を継承していくことは重要な課題である。	6月～11月	展示 1番館	6月菊苗定植 9月胴殻制作 10月末 菊付け 制作テーマ「娘道成寺」 展示用と制作実演用2体 展示 1番館	この事業は、伝統文化の継承としては、本来の事業と言えるもので この事業があって、始めて、子ども菊人形づくりが有り得るもの。 菊の栽培も毎年取り組んでいるが、気候の関係に大きく左右され上手く育成できない。はじめから購入菊で制作することも考える時期となっている。	
3	5	子ども細工人形づくり 目的 伝統文化である細工人形づくりを体験することにより、伝統文化への関心を高め将来に渡って伝統文化が継承されるよう、その芽を育む。	12月 第1・2 土・日 午前9-12 1・3組 午後1-4 計4回開催し完成させる	人形工房/各展示館	菊人形で製作した胴殻を利用し4年生の希望者(学校の授業ではなく、課外活動としての活動)23名が参加。 胴殻に紙貼り、布貼りを重ね、その上に貝殻系、木の実の殻、種当の植物系の天然素材を利用して柄を考案作成し、色付けした寒水石を利用し、人形に着物の柄表現する作業。メンバーの指導の下、子どもたちが制作する。制作された人形は、小学校玄関に1年間展示し、その後人形小路2番館に展示する。今年は、学校が工事中の為、2番館に展示している。	細工人形は360年余の歴史ある伝統で子ども達に体験させることは有意義なこととは思いますが、メンバーも高齢化し、人数も減少している中、事業の見直しをしていく中で、来年度から廃止としている。	
3	6	人形文化記録・啓発	9月～11月	人形工房/各展示館	テーマ決定から制作過程を写真と記述、展示状況写真記録しファイル化 菊まつり初日午後 菊人形トーク開催 ふれあいプラザ 講師 伊藤学芸員	制作者側の視点での記録は、重要で、後世の為に必要なこと。	

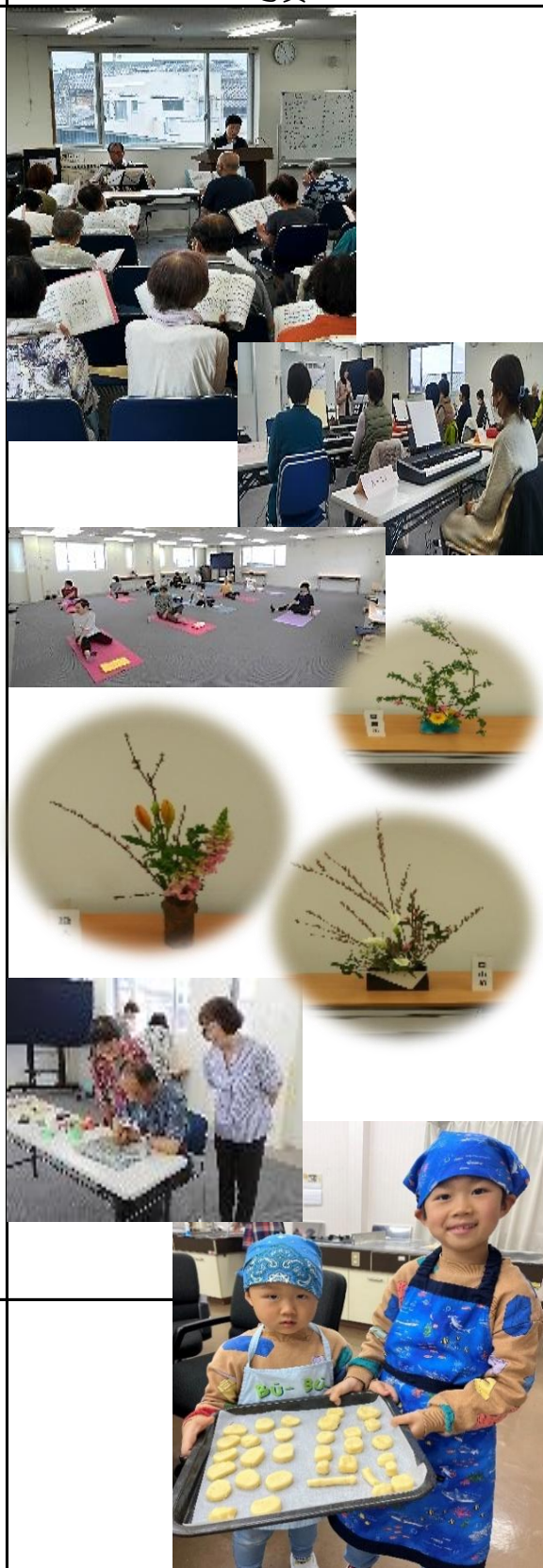


[4]防犯対策に関する事業（事業所管:防犯グループ/ GL:杉浦 茂樹 Gm:18名）				第2次地域計画 キャッチフレーズ		安心安全は地域の支えあいから																											
事業報告																																	
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容		評価・課題	写真																									
4	1	こっこパトロール 目的 住護の日（徒歩） 住宅を守るパト	毎月15日、10日 （8月を除く）	吉浜地区全体	環境美化を兼ねゴミを拾いながらパトロール。侵入盗防止のため警官とビラ配布・戸別訪問診断 住護の日（徒歩パトロール） 11回 延べ 72人 住宅を守る（侵入盗防止） 11回 延べ 70人		侵入盗被害は大きくは増加していない。パトロールでも不審者を見かけることも無い。 駅の自転車盗難の発生が多く、対策がを検討中。 子どもたちの被害報告無し。現状を維持する。 不審火の発生有り。注意が必要で、対策方法を検討する。																										
4	2	こっこパトロール 目的 犯罪のないまちづくり	年間	吉浜地区全体	地域内を毎月1町つつパトロールをしながら警察による防犯診断を行う。 地域内全体を把握するため重点個所の把握をする。																												
4	3	こっこパトロール 目的 小学校、幼/保育園のパトロール	毎月	吉浜小学校 4 幼保育園	小学校、幼/保育園のパトロール 11回 延べ 35人		幼稚園、保育園では、園児たちがとても興味もってきて歓迎され、交流ができた。																										
4	4	みんなで吉浜を マモルンジャー 目的 地域住民の防犯 意識 及び交通安全意識 の 向上を図る。特に高 齢者・こどもも意識 を図る	年間	 吉浜小学校 市内 小池ランド 安城文化センター 市内 高浜市内 吉浜小学校周辺	防犯教室 吉小5年生 3回 防犯啓発 防犯ネットワーク 3回 交通安全教室 吉小4年生 自転車指導 1回 （交通安全協会の応援） 愛知県侵入盗防止セミナー 参加 2人 安全なまちづくり県民運動 防犯ネットワークに1名参加 春・夏・秋・年末 広報啓発（ビラ配布） 防犯ネットワークに1名参加 「110番の日」 こっこキッズ防犯ビラ配布 1回	防犯少年団こっこキッズは応募者が減少。 防犯意識向上のためセミナー参加者を増やしたい。 高浜市 防犯ネットワークへはさらに積極的に参加する。	 <table><tr><td></td><td>1人目</td><td>2人目</td><td>3人目</td><td>4人目</td></tr><tr><td>22日</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>23日</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>24日</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>  <table><tr><td>名前</td><td>住所</td></tr><tr><td>名前</td><td>住所</td></tr><tr><td>名前</td><td>住所</td></tr></table> 吉浜まちづくり協議会 防犯グループ 0566-52-1101		1人目	2人目	3人目	4人目	22日					23日					24日					名前	住所	名前	住所	名前	住所
	1人目	2人目	3人目	4人目																													
22日																																	
23日																																	
24日																																	
名前	住所																																
名前	住所																																
名前	住所																																
4	5	みんなで吉浜を マモルンジャー 目的 青パト乗車体験	7月22日、23日 24日	地区全域	親子青パト乗車体験 児童と保護者に防犯活動や交通ルールを守ることの大切さを体験してもらおう 計3日 延べ12人 PTA役員親子青パト乗車体験 延べ40人		参加希望者が減少傾向にある。 PTA役員に子どもと一緒にパトロール乗車体験してもらい、防犯意識を高めたい。																										
4	6	みんなで吉浜を マモルンジャー 目的 赤色回転灯の点灯	年間	地区全域	各町内赤色回転灯の設置・点灯 各町2台 入替 2台		赤色回転灯の点灯・深夜青パトは抑止効果が現れていると思われる。																										
4	7	みんなで吉浜を マモルンジャー 目的 イベント会場警備	イベント開催時	人形小路一帯 丸畑公園 人形小路一帯 人形小路一帯 八幡社・神明社	花まつり 白象パレード交通整理 5/11 7人 夏まつり 盆踊り会場警備・❶整理 8/13 9人 菊まつり 山車パレード（雨天のため中止） 11/2 子ども雛行列 交通整理 3/1、8 19人 祭礼警備（防犯ネットワーク） 10/12、13 4人		イベントを盛り上げるのに役立っている																										
4	8	みんなで吉浜を マモルンジャー 目的 子ども110番の旗設置	年間	地区全域	子ども110番の旗の設置・マニュアルを町内会に依頼した 継続者を含めて、約100軒程度		子どもが犯罪に巻き込まれる事案は地区内で発生していないので、抑止力にはなっている。 継続したい。																										
4	9	110番宅訪問及び吉浜 小学校通学路確認 目的 通学路の安全確保	年間 4月-5月	地区全域 地区全域	小学1年生対象 吉浜小学校通学路確認 4月より3週間にわたり各交差点11か所において見守り立哨		子どもが犯罪に巻き込まれる事案は地区内で発生していないので、抑止力にはなっている。 新入生の見守り指導は下校時の立哨として継続する。																										

5

[6]環境保全の推進に関する事業（事業所管:環境グループ/ GL:杉浦 恵意 Gm:14名）				第2次地域計画 キャッチフレーズ	花いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱいのまち よしはま		
事業報告							
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真
6	1	道路清掃 目的 子ども・住民・近隣企業の参加により道路清掃等を行い、地域の交流と環境美化を図り、きれいな吉浜を作る	10月20日	県道・市道等	・ 吉浜学区のゴミ拾い・草取り等および丸畑公園で関連イベント ・ 参加者：地元企業 17社▶261名 住民 135名 ・ イベントは一部防災グループ関連を含め まち協全体で取り組む ・ 回収したゴミ330kgは、当日分別後、翌日クリーンセンターへ搬入	・ より多くの子どもたちを含む住民の参加を促した。 ・ イベントにおいては、まち協事務局・防災グループの全面的な協力があり、地域が一体感を増した。	
6	2	公園・道路の美化 目的 公園や道路の歩道などを花いっぱいの空間を作り、安らぎのあるまちづくりをする	年間	・ 地域約40箇所超の公園・道路・協力住民の庭先など ・ 県道棚尾高浜線歩道沿緑地帯	・ 花壇の里親制度により、住民の協力で花壇の管理をする ・ 里親さんから花苗等の購入・支給に適宜対応、管理見守り。 ・ 地域の全公園・人形小路沿い・通学路（45カ所） ・ グループ員が年間を通して管理（年14回、参加者延べ 180人超） ・ 花苗の植え替えは6月と11月、各800株。毎月1回以上草取り等を実施 ・ 晴天が続いた主に8月・12月は頻繁に水撒き作業（23回超）	・ 里親さんも高齢化が進んでいる。後任探し が課題 ・ 新しいメンバーも数人加入したが、全体的に高齢化が進んでいる。 ・ 地域に住む外国籍の人たちにも参加を期待したが、厳しい状況である。	
6	3	自然との共生 目的 地区内に来る野鳥観察をすることで、自然の大切さを感じ、共存について考える機会とする。	12月1日	新田町海岸	・ インストラクター4名の説明を受けながら野鳥観察を満喫した ・ 参加者 総勢70名。確認した野鳥40種類。 ・ グループ員は参加者の安全を見守りながら、周辺のゴミ拾いを実施	・ 毎年多くの参加があり、今後も継続したい	 
6	4	キザえもん 目的 吉浜ゆかりのキザえもんを利用し、地域の活動に興味を持ってもらう	年間	吉浜地区全域	・ 4町内会実施イベント・神社の祭礼に参加してPR活動を実施 ・ 11/3プラザにてキザえもんの紙芝居他実施。参加者50人超 ・ 自動車貼付け用マグネットシート2種類5枚を作成し、PRに活用 ・ キザえもん のぼり旗を新調。市広報誌にキザえもんを初掲載 ・ SDG's 活動を兼ね、「ペットボトルでキザえもんかざぐるま」でPR（試行） ・ 和歌山県在住の吉見家末裔へ活動報告（手紙、年1回以上実施）	・ 計画ではパネル作成があったが、協議の結果、取りやめた。代わりにPR用にマグネットシートを作成。 ・ 着ぐるみ作成も計画したが、案がまとまらず次年度へ持ち越しとした。 ・ 《読み聞かせの会》による紙芝居は好評だった。今後年1回程度継続実施をしたい。	 

[7]地域活動等の広報に関する事業（事業所管:広報グループ/ GL:神谷和夫 Gm:8名)				第2次地域計画 キャッチフレーズ		伝えたい、知りたいの玉手箱	
事業報告							
項目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真	
7 1	広報誌発行 「よしまちネット」	6月 10月 3月	小学校区全戸配布	よしまちネット発行 第58号・2024年 7月1日号 第59号・2024年11月1日号 第60号・2025年 4月1日号			
7 2	インターネット管理事業		ふれあいプラザ 関連場所	・ ホームページの更新 ・ ブログの公開 ・ インスタグラムの更新 ・ フェイスブック公開			
7 3	パネル展示事業		吉浜小学校区ほか 行事開催場所	テラスの情報コーナーの管理、テラスでの 催事の管理			
7 4	映像関連事業		高浜市内外	まち協や地域の活動をビデオ撮影し、よしまちテラスでのビデオ映造 やビデオの貸出しも行う。			
7 5	伝統文化広報事業			5月に公開する細工人形のリーフを作成し、見学者の資料として配布、高浜市の観光ガイドとしても各地のイベント会場で配布。毎年積み重ね最終的には、細工人形の作品集とする。貴重な資料の保存管理とする。			

[9]講座及び幼児教育に関する事業（事業所管:教養グループ/ GL:鈴木 啓悟 Gm:4名）				第2次地域計画 キャッチフレーズ	楽しんで、充実した毎日を		
事業報告							
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容	評価・課題	写真
9	1	講座開設事業 さわやか歌広場	2回/月 月曜日	ふれあいプラザ	ボイス・リーダーとアコーディオン伴奏で、童謡や唱歌、昭和の愛唱歌をみんなで一緒に歌う。認知症対策など高齢者を対象に実施する。 年間 24回 延 1,768名参加	コロナの蔓延で参加者が大きく減ったが、ここにきて増加し100名に達した。参加者の世代交代がスムーズであり、ロコミの威力を強く感じる。	
		はつらつチューブ体操	4回/月 月曜日	ふれあいプラザ	専門の先生の元、みんなで体の維持に努める。 年間 45回 延 635名参加	当初より数名減ったが、女性の横のつながりの強さもあり、好評を得ている。	
		淑女麻雀教室	3回/月 火曜日	ふれあいプラザ	男性アドバイザーの元、初心者の女性が集まり、知能ゲームを楽しむ。 年間 36回 延 308名参加	「麻雀を覚えたい」という声から始まったが、何とか「役」も覚え、麻雀らしくなってきた。脳トレです。	
		脳トレピアノ	体験会	ふれあいプラザ	両手の指を異なる動きで動かすことによって、音楽を楽しみながら、脳トレを図る。 体験会実施日 3/5 参加人数 11名	来年度から正式にスタートする講座ですが、体験会を開いたところ11名が参加した。子どもの頃の「夢」実現へ。	
		シャキーンと美姿勢	8回/月 木・金	ふれあいプラザ	捻じれ筋膜を治し、痛みも姿勢も修正する。高齢者にとっては体力の維持に役立つ。 年間 96回 延 1,242名参加	年齢がゆくと身体のあちこちに痛みを感じるようになります。そんなところを対策しながら体力維持を今後も進める。	
		いけばな教室	2回/月 金曜日	ふれあいプラザ	池坊所属講師を迎え、盛花・投入・自由花等の指導を受け、花をいけ、その美を楽しむ 年間 19回 延 247名参加	家を花できれいに飾りたい。そんな意気込みが見える生け花ばかりでした。参加者の漸減が不安材料。	
		ゆるゆるトーク	1回/月 土曜日	ふれあいプラザ	カウンセラーと保護者数名で会話し、児童についての悩みを語り合い共有し、また助言を受けたりする。 年間 7回 延 35名参加	こんな子どものことで悩んでいる父兄がいるのか、そんな感じでした。早くこうした場所に来なくても良くなるように。そんな講座にしてゆきたい。	
		切手アート	1回/月 土曜日	ふれあいプラザ	使用済み切手を使って、アートに挑戦。認知症対策。 年間 9回 延 57名参加	高齢化もあり、参加者減少が懸念される。	
		手芸講座	不定期	ふれあいプラザ	数種の小物を作り、元気に。 年間 6回 延 40名参加	参加者減少のため、来年度より廃止。	
		かんたん料理教室	不定期	きずな会館 JA吉浜支店	賑やかにおしゃべりしながら、一緒に料理を作る。 年間 1回 延 7名参加	場所の確保が難しいことと、参加者が少ないため来年度より廃止。	
		囲碁講座		ふれあいプラザ	いつまでも頭を使い元気に実施できず	参加者減少により開催できず。来年度より廃止。	
9	2	幼児教育 もじかずあそび	1回/月 日曜日	ふれあいプラザ	もじ遊び・かず遊び・英語遊びの導入を通して子どもたちの無限の可能性を共有。季節行事を通して子どもたちに大家族のように声かけ・思いやり・手伝いと言った行動を育む。ものづくりを通し経済の仕組みを体験し、どんな人になるにしても将来の選択のひとつになればよい。 年間 12回 延 266名参加 子ども読書推進支援（2冊/月）	講座に参加することにより保護者の関係が近くなり、情報を共有するようになった。	



[10]夏イベントに関する事業（事業所管:夏イベントグループ/ GL:内藤 尚仁 Gm:8名)					第2次地域計画 キャッチフレーズ	みんなでつくる 子ども夢のまち よしはま		
事業報告								
項	目	事業名	実施日	実施場所	実施内容		評価・課題	写真
10	1	夏まつり 目的 同時期に開催される 屋敷町・呉竹町まつ りと連携をとり、夏 まつりを開催する 子ども及び保護 者や地域住民の交流 の促進を図る	5月16日 6月13日 6月27日 8月13日	ふれあいプラザ ふれあいプラザ ふれあいプラザ 丸畑公園	夏まつりの打合せ 夏まつりの打合せ 夏まつりの打合せ ・ キッズダンス 50名 ・ 盆踊り 延べ 700名 ・ じゃんけん大会 250名 ・ 関連コーナー バルーンアートコーナー 子どもコーナーなど		・ コロナ開け開催にて、多くの方に参加頂けた。 ・ 当日要領過多などの問題が発生した。使用 内容および容量の打合せ必要。 ・ 準備および事前打ち合わせ不足。 ・ 次年度からは、事前に整理をしたうえで打 合せし、まち協全体での運営実施する。	 
10	2	スポーツふれあい 目的 スポーツ（ソフト ボール）を通じて小 学校区の住民のふれ あいを図る	5月29日 7月14日、21日 7月28日 8月11日、18日 8月25日	ふれあいプラザ 流作グラウンド 芳川多目的広場 流作グラウンド	実施内容打ち合わせ 2会場にて、練習試合 各日60～80名 5町、6チームでの対抗試合 3チームごとの総当たり予選 予選勝者による決勝戦 参加者 90名 優勝 屋敷町チーム 準優勝 呉竹チーム		・ コロナ開け開催にて、各町の交流の場と なった。 ・ 各チームごとの交流の場になっている。 ・ チーム編成に課題あり。 ・ 次年度は、早めにチーム編成などの打合せ を実施、方向性を整理して対応。	
10	3	七夕会 目的 各園で実施される七 夕会に、笹竹を提供 することで、園児・ 保護者及び地域住民 をまじえた地域交流 の促進を図る	7月2日	吉浜幼稚園 吉浜保育園 吉浜北部保育園 吉浜さんさん保育 園	各幼保園へ笹竹の提供 協力者 6名		・ 配布だけの内容になっているので、事業内 容としては適切とは言えない。 ・ この内容は、今年度で活動を終了する。	

第1号議案				令和6年度事業報告				A 市民予算枠事業 [11]事業運営								
[11]事業運営（事業所管:事務局・地域計画推進チーム）																
吉浜まちづくり協議会の事業活動がより円滑に、かつ充実したものになるよう諸会議を通し、取り組む。また地域計画推進管理においても同様に取組み、各グループ間の調整や構成団体との連携を計る。その為の、事務作業・事務及び事業管理業務(会計・記録作成等及び管理)。																
項	目	事業項目	概要	事業内容		実 施 内 容										
11	1	事業運営管理	会長の会務の総括を支える組織として、事務局を組織し、事業管理や事務処理の円滑な運営と、適格な事業管理を図る。	組織構成 会長、副会長、事務局 長(事務作業総括)、副事務局長、事務局員(書記、 会計、広報担当、地域計画担当、5町内会代表 ※組織運営につ いての基本条項は細則第2条 以下の会議運営を担う												
11	2	会議運営管理	事務局会議 9名	毎月第2火曜日 pm6.00～開催 (関係する全て情報の調整・発信・協議) 当月のよしまち運営会議・理事会に 関係する議題の検討など	開催日		主な事項		開催日	主な事項		開催日	主な事項			
					4月2日	事務引継ぎ他		7月9日	構成団体の使用料		10月22日	教養Gの講座編成		1月7日	市民予算枠事業提案書	
					4月9日	プラザ当番勤務の見直し		8月6日	よしまち会議テーマ		11月5日	次年度事業計画策定 よしまち会議		2月4日	多文化共生事業の取組	
					5月7日	第1回理事会内容検討		9月2日	第2回理事会内容		11月12日	次年度事業計画策定 よしまち会議		2月11日	次年度人事について	
					5月14日	プラザ利用促進		9月10日			12月3日	市民予算枠事業精査		3月4日	行事保険 きずな会館	
					6月4日	よしまち会議テーマ		10月1日	次年度事業計画日程検討		12月10日	市民予算枠事業精査		3月11日	青バト事業 事業報告確認	
			拡大事務局会議 16名	毎月第3火曜日pm7.00～開催(事務局+グループ) 前月の活動報告/各グループの事業運営関する事項/ よしまち運営会議/理事会に関する議題の協議	4月16日			7月16日	市民表彰推薦		11月19日	次年度事業計画予算関連				
					5月21日	第1回理事会内容確認 会計業務説明		8月20日	防災訓練関連説明		1月21日	次年度事業計画				
					6月18日	よしまち会議テーマ		10月15日	次年度事業計画予算関連		3月18日	令6年度事業報告				
			よしまち運営会議 29名	年6回開催予定 地域の課題等協議 地域計画進行管理		出席数	内容									
					6月25日	21+(9)	「高浜市総合防災訓練のアップデート」についてワークショップ									
					7月30日	19+(11)	「高齢者・いきいきクラブの現状と課題」についてワーんショップ									
					9月3日	18+(17)	「夏まつりの反省と今後の取組」についてワークショップ									
					10月29日	19+(12)	「子ども、高齢者、防犯、夏イベント各グループの次年度事業素案」について7ワークショップ									
					11月26日	17+(14)	「防災、環境、広報各グループの次年度事業計画素案」についてワークショップ									
			理事会 38名	年6回開催予定 総会に付すべき事項の審議 ・事業計画・収支予算 ・事業報告・収支決算 ・役員選出・改選 ・規約改訂 ・協議会運営に関する重要事項	開催日			内容								
					5月28日	24+(7)	議題「これからのまちづくり協議会」についてワークショップ									
					9月24日	22+(7)	令和6年度上半期事業報告承認									
					12月24日	19+(10)	理事懇親会 構成団体の活動紹介									
1月28日	24+(9)	令7年度市民予算枠事業・予算及び委譲事業、委託事業承認														
3月25日	25+(6)	令和6年度期事業報告承認														
4月15日	25+(8)	総会提出全案件 主に、令和6年度収支決算														
総 会			通常総会 令和6年4月30日(火)pm7.00 開催													
地域計画推進会議			よしまち運営会 ワークショップ課題検討		よしまち運営会議において年間を通じ、ワークショップをする中で、事前検討をしてきた。											
11	2	役職者手当管理	役職者に対し、役務手当の支給	規約に基づき、役務手当を支給する。 支給については、細則第1条に定める。		対象者16人に年間4期に分け、計2万円を支給。										
11	3	備品・消耗品購入	事務局運営等事務消耗品・備品購入管理	事務局運営等の事務消耗品・備品購入・管理 備品リスト作成		備品調書作成										
			貸出業務	貸出用備品の貸出管理 まち協、構成団体、その他団体・企業、構成員個人		スクリーン 3回 プロジェクター 4回 拡声器 1回										
11	4	軽四トラック管理	まち協事業用	各グループの事業活動用		まち協グループの事業活動	51回									
			構成団体貸出	構成団体事業活動用(無料)		構成団体貸出	48回									
			その他団体等貸出	事業活動用(無料)		その他の協力団体	0回									
			市民貸出	一般市民(500円/回)		一般市民	50回									
			車検、保険	税金、保険含、任意保険		軽自動車税減免、任意保険(東京海上日動火災保険(株))										
11	5	活動保険管理・他	行事保険	東京海上日動火災保険(株)		東京海上日動火災保険(株)										
11	6	賃貸駐車場管理	人形センター北 (第2駐車場)	11+6台		第2駐車場の案内看板を第1駐車場に設置										
		市賃貸駐車場管理	プラザ北側 (第1駐車場)	11台 第2駐車場(上記[P])の案内看板		13台に区割り変更し、青バトを第1駐車場に移動させた。										

地域内分権推進事業(通称:移譲事業)					B 移譲事業		
行政が実施していた事業のうち、「地域でやりたいと申請があった事業について 権限・財源を地域に移譲して取り組む事業(事業費の清算は不要)							
款	目	事業名	所管グループ	事業内容	実施内容		
B	1	青パト防犯パトロール	防犯グループ	青パトによる学区内の防犯・交通安全・下校時学童安全及び街宣による啓発活動。	パトロール回数	63回/年	
					延参加者数	202人/年	
				週3回			
B	2	総合防災訓練			高浜市総合防災訓練/9月1日 台風10号の為中止		
			5各町内会 主管	1次訓練 各町内会	総合防災訓練	総合防災訓練活動の代替事業	
					事前準備	10月20日クリーン作戦と同日に	
					8月 実施	防災訓練を実施 於:丸畑公園	
					訓練説明会	内容:簡易トイレの組立と使い方	
					8月 実施	煙道潜ぐり抜け、防災アンケート	
			防災グループ 主管	2次訓練 まち協	総合防災訓練	参加者数 135人	
					事前準備		
					8月 実施		
B	3	健康体操	高齢者グループ	介護予防事業として、高齢者を対象とした健康体操を行う。	健康体操 開催	月 4回 参加数 140人	
						延 48回 延人数1,680人	
					ストレッチを主にした体操		
B	4		高齢者グループ	認知症サポーター養成講座の開催(年5回程度)	キャラバンメイト連絡会議	4/26 全体会議	
						10/21、1/20 認知症会議	
				行政キャラバンメイトと協力し、小学校3年生児童に紙芝居等を通して、わかりやすい認知症出前教育を実施。出張講座の実施	認知症サポーター講座		
						11/3 第1回認知症養成講座開催	
						1/30 第2回認知症養成講座開催	
						3/23 第2回認知症養成講座開催	

ふれあいプラザ管理委託事業（事業所管 事務局）

ふれあいプラザは、施設の設置目的として、市民相互の連帯感及び住民自治の向上を図るとともに、高齢者、障がい者、子どもたちをはじめとする全ての市民が、地域における支えあいの下で、安らぎのあるところ豊かな地域共生社会を構築することとしている。 その目的を達成するためには、地域住民等の活力を積極的に活用した管理・運営を行うことが適切で、吉浜ふれあいプラザは、吉浜小学校区における地域内分権の推進の担い手である吉浜まちづくり協議会の拠点施設となることから、プラザの施設管理を吉浜まちづくり協議会に委託する。					C 管理委託事業
款		事業項目	概要	備考	実施内容
C	1	貸館受付・関連業務	貸室 スペース1・2・3・4 フリースペース(よしまちテラス)	事務職員	貸室使用状況、スペース1 2 3を開放し(パーティションの可動操作の困難さと人員の関係)、space1・2・3を判断し料金を徴収。その為、同時には2室使用は不可となっている。 1階よしまちテラス利用状況 昨年度改装され、今年度より本格しようにして夏休みをはさみ5月～10月末までの間1時間延長午後6時まで開館した。 毎日利用状況を時間帯と年齢層別に調査した。またアンケート調査も行った。全体的には、1日当たり12.6人の利用状況であった。放課後や休日の子供達の居場所、大人の語らいの場所として定着してきている。
		人事管理	職員配置、シフト管理、職務、賃金管理	基本、ふれあいプラザの維持管理業務・受付業務等とするが、状況により、まち協事業運営に関する事務作業もその役務とする。但し、グループの事務については、範囲外とする。	1直(女性) 午前8.30～午後1.00 1ヵ月 単位 5人でシフト 2直(男性) 午後1.00～午後5.00 3直(男性) 午後6.30～午後9.00 但し、利用がある場合のみその時間帯 1ヵ月 単位 2直3直 11人でシフト
	2	施設管理	会館施設の維持清掃管理 鉄骨造2階建て 延べ面積307.93㎡ 外部デッキテラス		毎日 1階床当番事務職員が掃除機にて清掃 2階床掃除ロボットにて清掃 水回り、トイレは事務員が清掃 (※令和7年度からは、年1回業者に委託し、2階カーペット部洗浄清掃、1、2階シート張部は洗浄、ワックス。)
	3	通信設備活用管理	電話(0566-52-1101) キャッチ 受診契約・Wi-Fi NHK受診契約		
	4	事務機器管理	複合機(リース契約/)・使用管理 印刷機(リース契約/)・使用管理 その他機器(市より貸与/リスト別紙)・使用管理		ブラックコピー使用枚数 29,366 枚 カラーコピー使用枚数 13,577 枚 386792
	5	設備機器管理	空調設備機器清掃 シルバー人材 自動扉 保守無 総合警備ALSOK委託契約 定期清掃委託 年2回シルバー人材 消防設備保守点検委託 浄化槽点検委託 エレベーター保守点検委託契約 事務室管理		保守 故障無し 令和7年1月末解約 高浜電工(株) 9/17点検報告書 消火器4本、受信機用バッテリー、誘導灯バッテリー 交換 (株)サムテック 東芝エレベーター(株)刈谷営業所 遠隔監視悔過報告 毎月
	6	事務等消耗品購入管理			
全事業予算		5,529,470			

[交付金会計]

令和6年4月1日～令和7年3月31日

収入の部					単位:円
款	事業項目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	備考
A	市民予算枠事業 交付金	7,286,000	7,286,000	0	決算額には交付金返還 額 473,624円を含む
B	移譲事業交付金	835,000	835,000	0	決算額には交付金返還 額 215,000円含む
C	委託事業委託料	5,529,470	5,529,470	0	
交付金 ABC 収入 計		13,650,470	13,650,470	0	

支出の部					単位:円
------	--	--	--	--	------

[A市民予算枠事業]

款	項	所管事業グループ	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	備考
	1	子どもグループ	165,000	127,627	37,373	
	2	高齢者グループ	210,000	164,807	45,193	
	3	伝統文化グループ	2,300,000	2,176,079	123,921	人形づくり工数減による減額
	4	防犯グループ	305,000	39,824	265,176	
	5	防災グループ	306,000	276,925	29,075	
	6	環境グループ	822,000	754,181	67,819	キザえもののパネル制作取止め
	7	広報グループ	375,000	368,623	6,377	
	8	食育グループ	322,000	322,000	0	
	9	教養グループ	458,000	458,000	0	
	10	夏イベント グループ	603,000	585,427	17,573	
	11	事業運営費 (事務局)	1,420,000	1,538,883	-118,883	
		交付金返還額	0	473,624	473,624	差額の合計は、返還金となる。
		合 計	7,286,000	7,286,000	0	

[B 移譲事業]

款	項	事業名	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	事業所管
B	1	青パト防犯パト ロール事業	532,000	317,000	215,000	防犯グループ
B	2	総合防災訓練事業	139,000	139,000	0	防災グループ
B	3	健康体操事業	144,000	144,000	0	高齢者グループ
B	4	認知症サポーター 養成事業	20,000	20,000	0	高齢者グループ
		交付金返還額	0	215,000	215,000	差額の合計は、返還金となる。
		合 計	835,000	835,000	0	

[C 委託事業] 事業所管: 事務局

款	項	事業名	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	備 考
C		ふれあいプラザ 管理委託事業	5,529,470	5,529,470	0	
		合 計	5,529,470	5,529,470	0	

[交付金外会計]

令和6年4月1日～令和7年3月31日

収入の部					単位:円
------	--	--	--	--	------

	項 目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	備考
	前年度繰越金	954,411	954,411	0	
	吉浜5町会特別会計より繰入	0	559,856	-559,856	次年度以降 夏イベント事業に 支出予定
	ふるさと応援交付金より繰入	1,000	10,000	-9,000	
	きずな会館受付代行業務	100,000	100,000	0	取扱い件数 419件
	その他収入	0	597,047	-597,047	講座開設収入 自販機売上金 軽トラック使用料 コピー料金 委 譲事業費余剰金
	駐車場料金返還金	0	420,000	420,000	前年度支払済の返還
	受取利息	1,000	204	796	
	合 計 (次年度繰越金)	1,056,411	2,641,518	-1,585,107	

支出の部					単位:円
------	--	--	--	--	------

部門	項 目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差額	備考
		0	0		
		0	0		

繰越金処分(案)	繰越金 2,641,518 円	積立金 1,000,000円
		次年度繰越金 1,641,518円

(規約第46条2項に基づく)		積 立 金	単位:円
令和5年度末 残 高	総会承認後 令和6年度積立金	合 計	備 考
3,515,607	1,000,000	4,515,607	

※積立金の目的は、同条2項1号・2号の「設備等補修」「防災備品」、他に使用するものとし、使用についての手続きは、規約第50条に基づく。

資 産 報 告

吉浜まちづくり協議会 資産目録（2025.3.31現在）

No.	品 名・設 備 名	型 式 ・ 規 格	取得年月日	保 管 場 所
001	インバーター発電機	ヤマハ EF2500i	2008/9/1	安全安心ST 倉庫A
002	サークルライト	5段蛍光灯式	2008/9/1	安全安心ST 倉庫A
003	テント一式	2間×3間	2008/9/1	安全安心ST 倉庫B
004	ビニール・ハウス	11X3.8m	2008	小池農園
005	安全安心ST 倉庫A	木造 1.8X3.6m	2008	安全安心ST
006	安全安心ST 倉庫B	イナバ製2.15X4.5m	2008	安全安心ST
007	防災倉庫 ①	ｽﾁｰﾙ 2.4X4.5m		吉小体育館南
008	防災倉庫 ②	ｽﾁｰﾙ 1.8X5.4m	2021/1/23	吉小体育館西
009	組立式リアカー			防災倉庫 ①
010	発電機（ガスボンベ式）	ホンダ EU9iGB	2021/1/23	ふれあいプラザ
011	収納庫	ｶｳﾝﾀﾞ GLA-10GK	2016/3/1	第3分団横・環境G
012	日よけスペース	2650X1650	2018/4/2	なかよし農園
013	土嚢置場	CB積み1300X3200	2017/5/1	ふれあいプラザ南側
014	パソコン ① dynabook	P3T5LSBG	2019/3/24	事務室
015	パソコン ② NEC	PC-NS700JAW-E3		事務室
016	パソコン ③ 富士通	FMVA77WBG	2018/3/15	事務室
017	ソニー 4K液晶テレビ	KJ-55X8000H	2022/12/1	ふれあいプラザ1F
018	ソニー 4K液晶テレビ	KJ-75X8000H	2022/12/1	ふれあいプラザ2F
019	軽トラック	ｽｽﾞｷ ｷｬﾘｰ	2022/2/7	安全安心ST
020	2F 冷蔵庫（シャープ製）	SJ-G35E2	2023/11/12	ふれあいプラザ2F
021	2F 冷蔵庫（シャープ製）	SJ-14S		ふれあいプラザ2F
022	青パト（市から貸与）	ﾄﾖﾀ ﾎﾟﾙﾃ	2007/	プラザ北駐車場
023	AED（自動体外式除細動器）	日本光電 AED-3150	2024/8/2	ふれあいプラザ入口
024	マグネットボード	山口工芸制作	2024/2/1	ふれあいプラザ1F
025	イージーアップテント	DXA60	2024/10/4	安全安心ST

監査報告書

令和7年4月7日 会長、事務局長、会計立会いのもと
令和6年度の会計監査を実施いたしましたところ、証憑
帳簿、預金通帳等いずれも適正に処理されていましたこ
とをここに報告いたします。

令和 7 年 4 月 7 日

監事

内藤 正彦

印

監事

村瀬 由夫

印

市民予算枠事業 とは

「自分たちのまちのことは、自分たちで考え、つくっていく」を趣旨に、市民が主役のまちづくりを進めて行くため、地域にとって一番効果的な税の使い方を考え、地域の「どうしよう?」(課題・問題点)を解決し、地域を「こうしたい!」「こうなったらいいな!」(まちづくりに対する想い)を実現するための仕組みとして、権限と財源を行政から地域に移し、「市民予算枠事業交付金」を実施するもので、手法としてまちづくり協議会が中心となり、地域計画を策定し、計画の実現を図るの事業。

第2次地域計画
キャッチフレーズ

子どもが夢を持ち、高齢者が笑顔で暮らせる　よしはま

[項]子どもの健全育成に関する事業　(事業所管:子どもグループ/　GL:内藤尚仁　Gm:14名)

項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
1	1	あいさつ声かけ活動 目的 児童・生徒の登校時に地域の大人が各交叉点に立ち、おはようの声掛け挨拶の習慣を付けをすると共に、交叉点での交通安全の啓発を図る。	毎月5・15・25日 30分間(交差点毎に時間設定)	下記交差点にて立哨 ・八幡社北側 ・八幡町4丁目 ・屋敷町 ・芳川町 ・吉浜交流館西 ・吉浜小西側押しボタン信号 ・幼稚園南入口 ・吉浜保育園東	校区内の8ヶ所の交差点に立ち、登校する吉浜小児童、高浜中学生などに「おはよう」声掛けをすのまた、交差点横断の安全を見守りする。また、車両運転者に安全運転の啓発を図る。
交付金		62,000	[主な支出] 協力者謝礼		
1	2	夏休み子ども講座 目的 地域の技能者を講師として招き、作品作りなど通じ、自己啓発を高めるとともに世代間の交流を図る。	夏休み期間中に実施	ふれあいプラザ	・プロの技に学ぼう ・手芸 ・手づくり小物 ・鬼瓦づくり　等 内容については、今後検討していく。
交付金		43,000	[主な支出] 講師料		
1	3	子ども提案でのイベント事業 目的 子どもたちのやってみたいこと、やらせてみたいことを話し合い、大人たちが協力イベント等実施することにより、子どもの自発性を図ると共に、大人の技量等を伝授しながら世代間交流を図る。	前期に吉浜小学校児童会委員と内容実施時期を検討・決定する。	検討の中で決定。 (概ね1月下旬)	イベント内容は、毎年吉浜小学校の児童・まち協子どもGで検討し実施する。
交付金		95,000	[主な支出] 会議お茶、イベント備品、消耗品		
合計		200,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		子どもが夢を持ち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま			
[2]高齢者のいきがい創出に関する事業（事業所管:高齢者グループ/ GL:加藤康二 Gm:13名）					
項	目-節	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
2	1 -1	深め合い ウォーキング 目的 普段の生活の中で、できるウォーキングを仲間共に会話をしながら歩くことにより、健康な体をつくり、体力の維持を図る。	第2・4土曜日 3月ウォーキング大会	小池・人形コース 神明・海岸コース 他 約40分	毎回40分程度で、コースを変えて地区内4コースを歩く。参加者は自生地ホコタッチを登録し、健康年齢の向上を図る。 年間の締めとして、ウォーキング大会を開催。
交付金		37,000	[主な支出] 参加者お茶		
2	1 -2	深め合い 井戸端会議 目的 外出をするきっかけをつくり、人とふれあいカラオケで歌い、体を動かすことにより健康で生きがいのある生活を楽しむ。	折り紙教室第3水曜 カラオケ 第2・4月曜日 グランドゴルフ毎週木曜	ふれあいプラザ 吉浜公民館 小池グランド	地域の高齢者を対象に、折り紙・カラオケ・グランドゴルフなどの活動を実施する。会員相互の交流を図ると共に、カラオケ発表会・折り紙展示・子ども折り紙教室等を実施し、子どもたちと交流を図る。
交付金		62,000	[主な支出] 折り紙講師料、カラオケDVD		
2	1 -3	深め合い グランドゴルフ大会 目的 各グランドゴルフ団体との交流を兼ねた大会として実施し、地域の活性化とつながりを図る。	11月23日予定	小池グランド	吉浜地区グランドゴルフ愛好者の交流の場として、まち協主催のグランドゴルフ大会を開催。
交付金		5,000	[主な支出] 啓発品		
2	2	お互いじゃんネット 目的 高齢者の日常的困りごとの相談を受け、お手伝いをして、互いに助け合う地域をつくる。	通年	吉浜小学校区	地域福祉の見守りから洩れやすい高齢者(日中独居者)の見守りと、高齢者全体の困りごと相談活動を実施。 高齢者が安心して住めるまちづくりを進める。
交付金		26,000	[主な支出] 活動者謝礼(500円/回)、広報チラシ		
合計		130,000			

第2次地域計画 チフレーション キャット 受け継ごう 伝統文化 育てよう未来					
[3]伝統文化の発展に関する事業 (事業所管:伝統文化グループ/ GL:村瀬 修 Gm:14名)					
項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
3	1	菊1本でまちづくり 目的 高浜市の花である菊を 植え育成することで菊 に対する愛着が持た れ、それを菊まつりに 出展することで、まつ りを盛り上げ多くの市 民に見ていただける。	5月～12月 11月展示	小池農園 小学校 4幼保園 一般市民(家庭) 菊花展会場	小菊苗の育成・畑定植育成 園芸委員鉢植え育成 60鉢 プランター植え育成 33鉢 里親菊育成 150鉢 菊まつり開催時
交付金		718,000	[主な支出] 工房賃貸料、苗購入、培養土、肥料購入、里親菊募集チラシ等		
3	2	子ども菊人形づくり 目的 ふる里の誇りある菊人 形を児童、園児と共に 制作し、楽しみながら 菊花や伝統文化の情操 を図る。	6月～11月	小池農園 小学校菊ガーデン 人形工房 小学校・幼・保園 菊まつり展示場2ヶ 所	人形用小菊栽培 小菊450本 人形用小菊栽培 小菊300本 人形胴殻他製作 展示舞台製作 人形菊付け 菊まつり開催時 展示
交付金		1,015,000	[主な支出] 人形制作謝礼、制作材料費、舞台製作材料費、花購入費等		
3	3	菊アートづくり (人形小路の会共同) 目的 菊人形とは別に一般市民 が参加できる形での作品 作りと展示で菊に親し み、菊まつりを盛り上げ る。	9月～11月	菊まつり展示会場	1600×1600のキャンバスに菊の 切花で絵模様を表現。数点展示。小 学生～高校生、一般の参加を募り制 作、今年度は、制作過程も観せる展 示を予定している。花手水も数点展 示する。 作品 5作品 市民制作参加 花手水 8点 菊アート小作品のワークショップ
交付金		316,000	[主な支出] 菊花購入費、成作キャンバス製作材料費、等		
3	4	本格菊人形づくり 目的 「菊師の里」として知ら れた我まちとして、菊人 形制作技術を継承してて いくことは重要な課題で ある。	6月～11月	小池農園 人形工房 1番館	(高浜市の無形文化財にも指定されて いる)根付き菊による菊人形の制作展 示。人形用小菊の栽培を小池農園で 行い。人形工房で胴殻制作。1番館 似て菊付けをし、菊まつりに展示す る。舞台制作も行う。
交付金		210,000	[主な支出] 人形制作謝礼、制作材料費、舞台製作材料費、花購入費等		
3	5	人形文化記録・啓発	9月～12月	人形工房他	学芸員(伊藤加奈子氏)を迎え、人形 制作から展示場制作・展示場状況等 を文章と写真で構成するファイル作 成とUSBで記録。まつりイベント際 に吉浜人形文化について「人形トー ク」を開催する。
交付金		40,000	[主な支出] 学芸員謝礼(制作過程や展示などの取材、記録、編纂、講話)		
合計		2,299,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		安心・安全は地域の支えあいから			
[4]防犯対策に関する事業（事業所管:防犯グループ/ GL:杉浦茂樹 Gm:18名）					
項	目	事業名	実施内容	実施予定日	事業場所
4	1	防犯パトロール 目的:吉浜小学校区内の犯罪防止及び防犯対策に対する意識の向上を図る。	① 毎月15日を「住護の日」の日とし、住宅地のパトロールする。 ②毎月10日は、小学校、幼・保育園の構内、周辺をパトロールする。 ③毎月10日に、碧南警察署と同行し、住宅の個別訪問で侵入防止等の住宅診断をし、注意喚起を図る。	毎月15日(8月除く) 毎月10日(8月除く) 毎月10日予定	1町内単位巡回
交付金		31,000	[主な支出] お茶代		
4	2	交通・防犯啓発 目的:地域住民の防犯意識及び交通安全意識の向上を図る。特に高齢者及び子どもの安全・安心を図る。	①・防犯教室、交通安全教室開催 ②全国交通安全運動に参加 春、夏、秋、年末の4回 ③防犯啓発 幟、横断幕の設置及びビラ、啓発品の配布。 ④夜間警戒 赤色回転灯を各町内会に2台貸与し、夜間に警戒点灯する。 ⑤イベント会場行列警備	年間6回 年4季 通年 通年	一般市民 於集会等 各交差点 道路、交差点 各町内会
交付金		148,000	[主な支出] 啓発品、チラシ代、のぼり代、赤色回転灯修理、等		
4	3	①子どもの見守り 目的:小学校児童と保護者が防犯活動や交通ルールを守ることの大切さを学ぶ。	①小学生通学路見守り ・新入生通学路確認 ・通学、下校時見守り ・子ども110番旗設置・訪問点検 ②青パト乗車体験会(児童・保護者) ③こっこキッズ ・防犯パトロール、ビラ配布、講演参加(予定10人)	新入学後 2週間 通年(長期休暇時除) 週1回 下校時 通年 7月下旬 3日間 夏休み3日間	通学路 主交差点等 通学路 主交差点等 学区内一圓
交付金		167,000	[主な支出]① 見守り協力者謝礼代、お茶代、啓発品、ユニホーム追加購入		
合計		346,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		家庭と地域 つながる 見える みんなの備えが命を救う			
[5]防災対策に関する事業 (事業所管:防災グループ/ GL:内藤 恭 Gm:15名)					
項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
5	1	無線機取り扱いと交信訓練 目的: 町内会及びまち協が有事の時の為に、訓練する。	6月	ふれあいプラザ他	MCA、トランシーバーの取り扱い方法の習得 交信及び報告内容の確認 トランシーバーの維持管理
交付金		5,000	[主な支出]お茶代		
5	2	総合防災訓練関連 目的:総合訓練では出来ない部分を別枠で訓練する。	総合防災訓練日又は、別日に設定	吉小体育館	避難者受け入れ 負傷者搬送 応急手当 避難所配備の備品の取扱い 非常食炊き出し 他
交付金		15,000	[主な支出]お茶代、消耗品		
5	3	災害応急井戸の整備、維持管理 目的:災害時はインフラ破壊されることが予測される。井戸水重要な生活水となり整備する	10月～11月	呉竹町 芳川町	登録済み井戸に対して、水質の再検査を行い維持管理に努める。不足する災害応急井戸を確保するため、現状の把握と新たな井戸を追加登録する。
交付金		107,000	[主な支出]検査料、表示プレート		
5	4	防災食講習会 目的:非常食の一鍋クッキングを習得すると共に備蓄の考え方を学ぶ。	11月	いきいき広場クッキングスタジオ	非常時の食物確保として、食料備蓄の考え方をマスターすると共に、一鍋クッキングの調理を習得する。受講者対象者は、各町内会から推薦概ね40名の受講者を予定。
交付金		42,000	[主な支出]講師料、食材、施設使用料、消耗品		
5	5	地区版防災マニュアルの普及 (町内会別) 目的:災害時の町内会役員の役割とまち協及び行政との連携を明確にする。	8月、3月	総会 防災訓練説明会	手づくり防災マップの増刷 八幡町・新田町 小池町 屋敷町 呉竹町 芳川町
交付金		101,000	[主な支出] 5町マニュアル印刷費、同マップ印刷費		
5	6	吉浜小学校の総合学習への協力 目的:まち協で作成した防災マニュアルや防災マップを基に、小児児童を対象に防災教育を推進する。	1月	通学路	吉浜小学校高学年を対象に、地区版防災マニュアル及びマップを活用し、危険箇所や地盤の緩い地形、電柱の海拔表示等々を説明しながら下校途中防災学習をする。
交付金		3,000	[主な支出]お茶代		
5	7	防災備蓄倉庫、避難所備品倉庫の管理 目的:防災備品を定期的に棚卸や機械を試動し確認する。	8月 2月	吉浜小学校体育館南及び西防災倉庫	備蓄品リストに基づき、発電機の試運転、町内会やまち協の保管備品、備蓄品をチェックし、また保管状況をの情報交換し、補充備品等の計画を進める。
交付金		31,000	[主な支出]ヘッドランプ、拡声器、ガソリン代		
合計		304,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		花いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱいのまち よしはま			
[6]環境保全の推進に関する事業 (事業所管:環境グループ/GL:杉浦敬意 Gm:11名)					
項	節	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
6	1	さわやかデー 目的:子どもをはじめ地域住民、企業参加の下、道路清掃はじめ花壇に花植えることにより地域の交流と環境美化を図る。 (愛・道路パートナーシップ事業 H22認定)	清掃 年1回 10月 県道花壇は年間	・地域全体、企業周辺 ・県道碧南高浜環状線	県道・市道等を地域住民、近隣企業と共同でゴミ拾い、除草する。 県道花植え作業 年2回 以後育成(水やり草取り)管理
交付金		363,000	[主な支出]参加者お茶代、軍手・ごみ袋当消耗品、花苗、培養土、肥料		
6	2	公園・道路の美化 目的:公園や道路の歩道の植込みに花を植え管理し、花いっぱいの、安らぎのある街にする。	年間	吉浜小学校区の各公園、吉浜駅前、まち角花壇、通学路沿い等	公園や街角等の花壇を里親制度により、地域の住民の協力で約45か所の花壇を管理する。 県道沿いについては、環境グループが中心となり、住民参加を得て活動。作業は月1回。花の植え替え、草取り、水やり等の手入れを行う。
交付金		340,000	[主な支出]花苗、培養土、肥料、農薬、里親謝礼		
6	3	自然との共生 (野鳥観察) 目的:吉浜海岸に飛来する野鳥を観察する中で、自然の良さ、大切さを感じ自然との共存を考える機会とする。また、親子と参加することにより、親子のふれあいの機会とする。	年1回	吉浜堤防道路	野鳥観察を行いながらインストラクターの説明を受け、野鳥の知識と自然とのふれあいを楽しむ。堤防のゴミ拾いをして、環境美化に努める。
交付金		60,000	[主な支出]野鳥の会謝礼、案内チラシ成作・仕分け、参加者啓発品		
6	4	キザえもん 「キザえもん」をキャラクターとして地域を盛り上げる。	年間	吉浜学校区内	各イベントにて、射放弓の吉見喜左衛門の紹介 PR品成作、チラシ制作 幟制作
交付金		49,000	[主な支出]PRマグネットシート制作、PR啓発品、幟等		
合計		812,000			

第2次地域計画
キャッチフレーズ

伝えたい、知りたいの玉手箱

[7]地域活動等の広報に関する事業（事業所管:広報グループ/GL:神谷和夫 Gm:7名)

項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
7	1	広報「よしまちネット」発行 目的:情報誌を発行し、まち協の活動を知らせ理解を深め、参加を促す活動記録とする(永久保存資料)	5月 9月 1月	まち協地区内全戸配布	よしまちネット発行 第58号・59号・60号 町内会や事業グループの予定や活動報告の情報提供を受け取材し、編集発行して地域住民へ情報発信する。
交付金		142,000	[主な支出]印刷費、仕分け費、デザイン料、インク代		
7	2	インターネット管理 目的:ネット時代として、必須事業。SNSを活用し、多面的に情報の発信・収集を図る。	年間	ふれあいプラザ および関連場所	よしまちネットのホームページの更新 ・ブログの公開 ・Instagramの整備 ・公式Line運営
交付金		126,000	[主な支出]サーバー使用料、HP制作更新料		
7	3	パネル展示 目的:パネルを使った情報発信や作品展示、活動展示などをして、まち協活動を紹介する。	年間	まち協地区内	イベントに合わせ企画展を開催。 よしまちテラスに作品展示や情報掲示。
交付金		74,000	[主な支出]デザイン制作ソフト使用料、ポスター制作費		
7	4	映像関連 目的:活動の様子を動画にして、発信・公開する。次世代のマニュアルとして保存する。	年間	高浜市内外	まち協各グループの活動、町内会活動、その他、地域団体の活動を撮影。 よしまちテラスでのモニター放映他、要請にに応じ動画データの提供。
交付金		10,000	[主な支出]撮影編集謝礼、DVD制作		
7	5	伝統文化広報 目的:地域の伝統文化である、細工人形や射放弓など各種の方法をもちいて、情報発信と記録を保存する。	5月	各地	5月に公開する細工人形のリーフを作成し、見学者の資料として配布。高浜市の観光ガイドとしても各地のイベント会場で配布。毎年積み重ね、最終的には、細工人形の作品集とする。貴重な資料の保存管理。
交付金		20,000	[主な支出]リーフ印刷費、資料制作謝礼		
合計		372,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		子どもと一緒に、楽しく野菜づくり			
[8]食育に関する事業（事業所管:食育グループ）					
項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
8	1	食育 目的: 子ども、家族、先生 共同で、野菜栽培を 通じ (1)子どもたちに、 食育上必要な野菜の 提供 (2)野菜栽培の要領 とその育成の感覚を 体験を通じて学ぶ (3)自然と人とのふ れあいにより、情操 教育に活かす。	年間 作業は毎週 火曜日朝を予定	北部保育園 「なかよし農園」	・畑の耕運整備 ・各種野菜の種苗植え （じゃがいも、玉ねぎ、さつま いも、夏冬野菜、他） ・育成中の手入れ管理 ・収穫作業 地区幼保園園児たち、家族との 作業も併せて実施、一部は 給食にも提供 ・園児との全般の共同作業に おける指導、教育 ・保育園行事への参加と 園児/家族/先生との交流 ・関係者からの経験/知識、 および、本、ネットなどから 野菜育成の知識習得
交付金		337,000	[主な支出]種苗代、肥料代、工作用具代、お茶代、消耗品		
合計		337,000			

第2次地域計画 キャッチフレーズ		楽しんで、充実した毎日を・・・			
[9]講座及び幼児教育に関する事業（事業所管:健康・教養グループ/GL:鈴木啓吾 Gm:4名）					
項	目	事業名	実施日/時間/会費	参加対象者	実施内容
9	1	さわやか歌広場 目的 高齢者の認知症の防止と、日々の楽しみや生きがいに応え、元気な高齢者のまちづくりを目指す。	毎2回(月曜日 10.00～11.30 参加費1,000円/半年	性別・年齢不問 参加者 75名	声楽家の講師とアコーディオン奏者を招き、童謡、唱歌等合唱する。
交付金		225,000	3586円/年・人	149円/回・人	講師料、消耗品
参加費		83円 /人・回			
9	2	幼児教室 目的 幼児教育を開催してヤングママの意識の向上を図ると共に、子どもの健全な成長の促進を図る。 ヤングママたちの、お互いの子育てに対する悩み事やストレス解消の場を提供する。	毎第3日曜 11.00～13.30 参加費7,200円 /12ヶ月	幼児・両親 13名	幼児教育を開催してヤングママの意識の向上を図ると共に、子どもの健全な成長の促進を図る。 ヤングママたちの、お互いの子育てに対する悩み事やストレス解消の場を提供する。 [クラス] めばえ ステップアップ チャレンジ えいご遊び
交付金		93,000	596円/回(13名)		講師料、消耗品
参加費		600円/人・回			
9	3	ゆるゆるトーク 目的 児童を持つ親御さんたちの悩みなどに対応する話合いの場を設け、親御さんの心の負担を軽くする。	第2土曜日 参加費100円/回	児童を持つ母親 数名～10名	カウンセラーと母親数名とで会話の中で、互いの悩みを語り、共有し、また助言を受たりする。
交付金		31,000円	3,100円/回		講師料
参加費		100円/人・回			
交付金合計		349,000			

第2次地域計画

キャッ

楽しんで、充実した毎日を・・・

チフリーズ

[9-a]ふれあい趣味・健康講座に関する事業（事業所管:健康・教養グループ）

ふれあいプラザ活用し、健康維持や趣味を楽しみ、ふれあいを通して健康で文化的な人生を送ることを自ら積極的に取り組む講座、健康・教養講座で、まち協が推奨する事業

項	目	事業名	実施日 / 時間	参加対象者	実施内容
a	1	はつらつチューブ体操 講師 鈴木浩子 参加費 8,000円/期	毎第1・第3月曜 13.30～15.00	女性/年齢不問 定員15～20人	ゴムチューブによる負荷を用いた筋力トレーニング。
a	2	シャキーンと美姿勢 講師 幸前志津子 参加費 400円/回	毎月第1・3木曜 10.00～12.00 13.30～15.00 毎月第2木曜 13.00～15.00	女性/年齢不問 定員15～20人	筋膜リリース体操 ねじれ筋膜を直し、痛みも姿勢も修正。
a	3	整体健康講座 講師 前川 勉 参加費 1,000円/回	毎週金曜 13.00～17.00	性別・年齢不問	整体を整えると共に日々の生活姿勢について指導する。
a	4	生け花講座 講師 内藤満理子 参加費15,750/10回	毎月第1金曜 10.00～12.00	性別・年齢不問 定員10～15人	池坊師範の指導による生け花教室
a	5	脳トレピアノ 講師 田村有紀 参加費6,000円/3ヶ月	毎月第1・3水曜	性別・年齢不問 定員5～15人	楽しみながら、指を動かし、脳を活性化。
a	6	切手アート 講師 村松輝一 参加費	毎月第3土曜 13.30～16.30	性別・年齢不問 定員5～10人	使用済みの切手を使ってアートに挑戦。
a	7	淑女のマージャン教室 主宰者 岡本万理子 参加費無料	毎週火曜日 13.00～16.30	女性/年齢不問 定員8～10人	脳を使って、ゲームを楽しみ認知症対策。

第2次地域計画 キャッチフレーズ	みんなでつくる 子ども夢のまち よしはま
---------------------	----------------------

[10]夏イベントに関する事業 (事業所管:夏イベントグループ/ GL:杉浦雅之 Gm10名)					
項	目	事業名	実施予定日	実施場所	実施内容
10	1	盆踊り 目的:子供から高齢者まで世代を超えて参加出来、地域住民はじめ外国人など多文化交流の場とする。	8月中旬	丸畑公園(暫定) (流作グラウンド)	開会式を行い、来賓を招く。 盆踊りを中心として、キッズダンス、バルーンアート、マルシェなど企画運営。 盆踊りについては、事前練習日を設ける。
交付金		548,000	[主な支出]ポスター代、練習会場費、指導員謝礼、櫓代、音響、電気設備、スタッフお茶、協力者謝礼、浴衣クリーニング、啓発品、着付謝礼		
10	2	ふれあいソフトボール大会 目的:町内会対抗の大会として、5町の町内会の地域住民の世代を超えたの交流を図る。	8月4週目・日曜日	流作グラウンド	5町の町内会チーム対抗試合を行い。優勝から3位まで賞金を出す。(賞金については、公民館運営時代の基金から賄う) 場合によっては、地域企業の参加も可能とする。 事前に練習日を設ける 開会式・閉会式を開催し、開会式には来賓を招く。
交付金		132,000円	[主な支出]練習場・大会会場施設使用料、審判謝礼、お茶、消耗品		
合計		680,000			

[O][協議会]運営事業（事業所管:事務局/ 会長以下10名）				
吉浜まちづくり協議会の事業活動がより円滑に、かつ充実したものになるよう諸会議を通し、取り組む。また地域計画推進管理においても同様に取組み、各グループ間の調整や構成団体との連携を計る。その為の、事務作業・事務及び事業管理業務(会計・記録作成等及び管理)。				
項	目	事業項目	概要	内容
11	1	運営管理	会長の会務の総括を支える組織として、事務局を組織し、事業管理や事務処理の円滑な運営と、適格な事業管理を図る。	組織構成 会長・副会長・事務局長(事務作業総括)・副事務局長 事務局員(書記、会計、広報担当、地域計画担当、5町内会代表 ※組織運営についての基本条項は、細則第2条に定める。 各種会議企画運営、地域計画進行管理、渉外、会計
11	2	会議運営	事務局会議 拡大事務局会議 よしまち運営会議 理事会 総会 地域計画推進会議	月2回開催予定(関係する全て情報の調整・発信・協議) 月1回開催予定(事務局に1OGリーダーを加えたメンバー 年6回開催予定(地域の課題等協議、地域計画進行管理) 年6回開催(総会議決・報告議題について審議) 通常総会 毎年4月第4火曜開催 通年随時/必要に応じ、よしまち運営会議提案
11	2	役職者手当	役職者に対し、役務手当の支給	規約に基づき、役務手当を支給する。 支給については、細則第1条に定める。
11	3	備品・消耗品購入	事務局運営等事務消耗品・備品購入管理 貸出業務	事務局運営等の事務消耗品・備品購入・管理 備品リスト作成 貸出用備品の貸出管理 まち協、構成団体、その他団体・企業、構成員個人
11	4	軽四トラック 運営管理	まち協・構成団体等事業用 軽四トラック燃料及び車検・任意保険修理・定期点検・修理 軽四トラック保険等	各グループの事業活動用 構成団体事業活動用 協力団体事業活動用
11	5	活動保険	行事保険(日動火災)	死亡200万円、入院3000円/日、通院2000円/回
11	6	月極駐車場賃貸	屋敷町1丁目5-24 人形センター北 11+6台	
		市 賃貸駐車場管理 13台		
		安心安全ステーション (市 無償貸与) 倉庫使用、地積223.96㎡、建物66.98㎡		各グループ、事務局、人形小路の会の資材倉庫
交付金		2,000,000		

地域内分権推進事業(通称:移譲事業)					
行政が実施していた事業のうち、「地域でやりたいと申請があった事業について 権限・財源を地域に移譲して取り組む事業(事業費の清算は不要)					
款	目	事業名	所管グループ	事業内容	実施内容
B	1	青パト防犯パトロール	事務局	青パトによる学区内の防犯・交通安全・下校時学童安全及び街宣による啓発活動。 週3回以上の実施	町内会を始め、構成団体及びまち協事業グループが年間を通じて、1週間毎にパトロール受持ち、週に3回実施し実施記録に記入。防犯グループによる青パトを実施し、実施記録を台帳に記入。
交付金		434,000		車両管理	車両 整備・保険・燃料
B	2	総合防災訓練	5各町内会主管 防災グループ主管	1次訓練 各町内会 2次訓練 まち協	①タオル掛け訓練 ②避難訓練 ③マイ・タイムラインの検討作成 ④(その他の訓練) 初期消火訓練 救護訓練(応急手当 AED) 町内会防災機材訓練 ⑤避難所開設訓練 受付、トイレ、パーティション等 ⑥市防災資材機材訓練 照明器具・発電機の試運転 消防団による放水訓練
交付金		139,000			
B	3	健康体操	高齢者グループ	介護予防事業として、高齢者を対象とした健康体操を行う。	ストレッチを主体とした体操実施により、硬くなった筋肉をほぐしながら歪をだし、健康な体にもどす。 週1回開催
交付金		156,000			
B	4	町内会加入促進事業	事務局	5町内会	まち協事務局と5町内会が協議、協力して、町内会加入者の促進を図る。
		175,000			
合計		904,000			

ふれあいプラザ管理委託事業（事業所管 事務局）				
ふれあいプラザは、施設の設置目的として、市民相互の連帯感及び住民自治の向上を図るとともに、高齢者、障がい者、子どもたちをはじめとする全ての市民が、地域における支えあいの下で、安らぎのあるこころ豊かな地域共生社会を構築することとしている。 その目的を達成するためには、地域住民等の活力を積極的に活用した管理・運営を行うことが適切で、吉浜ふれあいプラザは、吉浜小学校区における地域内分権の推進の担い手である吉浜まちづくり協議会の拠点施設となることから、プラザの施設管理を吉浜まちづくり協議会に委託する。				
款		事業項目	概要	備考
C	1	貸館受付・関連業務 人事管理	貸室 スペース1・2・3・4 フリースペース(よしまちテラス) 職員配置、シフト管理、職務、賃金管理	事務職員 採用については、事務局会議で行政と調整を取りつつ、協議決定する。 基本、ふれあいプラザの維持管理業務・受付業務等とするが、状況により、まち協事業運営に関する事務作業もその役務とする。
C	2	施設管理	会館施設の維持清掃管理 鉄骨造2階建て 延べ面積307.93㎡ 外部デッキテラス	施設の運営管理については、事務局会議にて協議決定し執行する。
C	3	通信設備活用管理	電話(0566-52-1101) キャッチ 受診契約・Wi-Fi NHK受診契約	
C	4	事務機器管理	複合機(リース契約/)・使用管理 印刷機(リース契約/)・使用管理 その他機器(市より貸与/リスト別紙)・使用管理	
C	5	設備機器管理	消防設備保守点検委託 浄化槽点検委託 エレベーター保守点検委託契約 空調設備保守 定期清掃 事務室管理	
C	6	事務等消耗品購入管理		
交付金	合	5,795,000		

[交付金会計]

令和7年4月1日～令和8年3月31日

収入の部					単位:円
款	事業項目	令7年度予算額	令6年度予算額	(A-B) 差額	備考
A	市民予算枠事業 交付金	7,829,000	7,286,000	543,000	
B	移譲事業交付金	904,000	835,000	69,000	新:町内会加入促進事業
C	委託事業委託料	5,795,000	5,529,470	265,530	事務職「最賃」引上げ
交付金ABC収入 計		14,528,000	13,650,470	877,530	

支出の部					単位:円
令和7年4月1日～令和8年3月31日					

[A市民予算枠事業]

項	所管事業グループ	(A) 令7年度予算	(B) 令6年度予算	(A-B) 差額	備考
1	子どもグループ	200,000	165,000	35,000	
2	高齢者グループ	130,000	210,000	-80,000	
3	伝統文化グループ	2,299,000	2,300,000	-1,000	
4	防犯グループ	346,000	305,000	41,000	
5	防災グループ	304,000	306,000	-2,000	
6	環境グループ	812,000	822,000	-10,000	
7	広報グループ	372,000	375,000	-3,000	
8	食育グループ	337,000	322,000	15,000	
9	教養グループ	349,000	458,000	-109,000	
10	夏イベント グループ	680,000	603,000	77,000	
11	事業運営費 (事務局)	2,000,000	1,420,000	580,000	事業運営費を再積算し増額
	(A) 合 計	7,829,000	7,286,000	543,000	

[B 移譲事業]

款	目	事業名	(A) 令7年度予算	(B) 令6年度予算	(A-B) 差額	事業所管
B	1	青パト防犯パト ロール事業	434,000	532,000	-98,000	事務局
B	2	総合防災訓練事 業	139,000	139,000	0	防災グループ
B	3	健康体操事業	156,000	144,000	12,000	高齢者グループ
B	4	新:町内会加入促 進事業	175,000	0	175,000	事務局
B		認知症サポー ター養成事業	0	20,000	-20,000	令和7年度廃止事業
		(B) 合 計	904,000	835,000	69,000	

[C 委託事業] 事業所管: 事務局

款	事業名	(A) 令7年度予算	(B) 令6年度予算	(A-B) 差額	備 考
C	ふれあいプラザ 管理委託事	5,795,000	5,529,470	265,530	事務職「最賃」引上 げ
	(C) 合 計	5,795,000	5,529,470	265,530	

[交付金外 会計]

収入の部					単位:円
	項 目	(A) 令7年度予算額	(B) 令6年度予算額	(A-B) 差額	備考
	前年度繰越金	1,641,518	954,411	687,107	
	ふるさと応援交付金	83,000	10,000	73,000	前年度納税分より今年度交付されるもの
	きずな会館受付代行業務	120,000	100,000	20,000	
	その他の収入	10,000	0	10,000	
	受取利息	100	0	100	
交付金外収入 計		1,854,618	1,064,411	790,207	

支出の部					単位:円
部門		(A) 令7年度予算	(B) 令6年度予算	(A-B) 差額	備考
夏イベント事業	賞金・賞品等	73,000			
	残 金	1,781,618			
	合 計	1,854,618			

※5町会特別会計抜粋 (5町会から繰入金の夏イベント収支状況を報告するもの)					単位:円
	収入金額	支出項目	支出金額	備考	
5町会特別会計繰入金(R7年度)	559,856	夏イベント	73,000	賞金・賞品等	
ふるさと応援交付金	83,000				
計	642,856	計	73,000		
収入額計ー支出額	569,856				

(規約第46条2項に基づく) 積 立 金			単位:円
(令和6年度末)	金 額	備 考	
残 高	4,515,607	元金による利息を含む	

※ 積立金の目的は、同条2項1号・2号の「設備等補修」「防災備品」他に使用するものとし、使用についての手続きは、規約第50条に基づく。

※1 市民予算枠事業予算はグループ内で流用できる。

※2 市民予算枠事業交付金の残金については、返却分を市と協議し返却する。

※3 移譲事業の事業執行後の収支残金及びふるさと応援交付金及び雑収入・その他の収入は全て次年度繰越分として扱い、その内訳は状況に応じ「積立金」及び「次年度繰越金」のいずれか又は双方に分けて繰入又は繰越する。・この処理については、総会の議決事項に含む。

理事

規約 第10条1項及び2項による。グループリーダーについては第15条2項による

No.	役職	氏名	備 考	区分
1	会長	横井 光義	小池町 元小池町町内会会長 よしまち	—
2	副会長	内藤 充	屋敷町 防災Gリーダー よしまち	再任
3	副会長	鈴木 康博	呉竹町 元呉竹町町内会会長 よしまち	新任
4	理事	内藤 尚仁	小池町 子どもGリーダー よしまち	再任
5	理事	加藤 康二	小池町 高齢者Gリーダー よしまち	再任
6	理事	村瀬 修	屋敷町 伝統文化Gリーダー よしまち	再任
7	理事	杉浦 茂樹	呉竹町 防犯Gリーダー よしまち	再任
8	理事	杉浦 恵意	呉竹町 環境Gリーダー よしまち	—
9	理事	神谷 和夫	屋敷町 広報Gリーダー よしまち	—
10	理事	前川 勉	八幡町 食育Gリーダー よしまち	—
11	理事	鈴木 啓悟	呉竹町 健康・教養Gリーダー よしまち	—
12	理事	杉浦 雅之	呉竹町 夏イベントGリーダー よしまち	新任
13	理事	内藤 真治	八幡町 八幡町・新田町町内会会長 よしまち	新任
14	理事	村瀬 俊一	小池町 小池町町内会会長 よしまち	—
15	理事	蓮井 博史	屋敷町 屋敷町町内会会長 よしまち	新任
16	理事	太田 正博	呉竹町 呉竹町町内会会長 よしまち	新任
17	理事	福井 邦彦	芳川町 芳川町町内会会長 よしまち	新任
18	理事	内藤 恭	八幡町 前八幡町・新田町町内会会長	再任
19	理事	加藤 浩千	屋敷町 前屋敷町町内会会長	—
20	理事	山田 義光	呉竹町 前呉竹町町内会会長	—
21	理事	岡田 透	芳川町 前芳川町町内会会長	—
22	理事	内藤 皓嗣	八幡町 人形小路の会会長 よしまち	—
23	理事	神谷 正巳	芳川町 細工人形保存会会長 よしまち	再任
24	理事	奥野 逸子	屋敷町 吉浜地区 赤十字奉仕団 よしまち	新任
25	理事	篠田 幸子	呉竹町 吉浜地区 民生・児童委員 よしまち	新任
26	理事	加藤 嘉代	屋敷町 吉浜地区 健康づくり推進委員 よしまち	—
27	理事	村瀬 稔	八幡町 環境Gサブリーダー	再任
28	理事	鈴木 勝彦	呉竹町 広報Gメンバー	—
29	理事	尾崎 稔彦	芳川町 元芳川町内会会長 元かもめ会会長	—
30	理事	鈴木 剛	〔屋敷町〕 高浜市立吉浜小学校校長 よしまち	—
31	理事	増田 洋喜	〔屋敷町〕 高浜市立吉浜小学校教頭	新任
32	理事	安井 久夫	〔屋敷町〕 JAあいち中央吉浜支店長 よしまち	—
33	理事	鈴木 将己	〔屋敷町〕 消防団第三分団分団長 よしまち	新任
34	理事	中村 範親	〔芳川町〕 高浜安立荘 よしまち	新任
35	理事	鵜芦 由未子	〔芳川町〕 ケアハウス高浜安立 よしまち	再任

27名

監事

規約 第10条3項による

No.	役職	氏 名	備 考	区分
1	監事	内藤 正彦	屋敷町	－
2	監事	村瀬 由夫	屋敷町	－

（注）新任・再任の表示のある方が、今回の要了承認役員です
「－」は、理事2年目の方で、継続となります

よしまち

は、よしまち運営会議のメンバーです。

<報告事項>

退任理事

No.	役職	氏 名	備 考
1	理事	石橋 勝治	八幡町 吉浜音頭保存会会長
2	理事	内藤 俊宏	八幡町 吉浜小学校PTA会長
3	理事	柘植 栄子	八幡町 元八幡町・新田町町内会会長
4	理事	岩井 伸江	屋敷町 元屋敷町町内会会長
5	理事	神谷 定幸	呉竹町 元呉竹町町内会会長
6	理事	中村 豊	芳川町 元芳川町町内会会長
7	理事	鈴木 貞利	呉竹町 シルバー人材センター会長
8	理事	中嶋 義一	芳川町 芳川いきいきクラブ
9	理事	都築 陽子	屋敷町 吉浜地区 赤十字奉仕団
10	理事	内藤 里美	八幡町 吉浜地区 民生・児童委員
11	理事	新名 佑太郎	〔屋敷町〕 消防団第三分団分団長
12	理事	三牧 秀和	〔湯山町〕 高浜市立高浜中学校校長
13	理事	本多 みちよ	〔屋敷町〕 高浜市立吉浜小学校教頭
14	理事	村松 輝一	八幡町 元広報Gリーダー 文化協会会長

事務局

規約第16条2項、3項による

No.	役職	氏名	備 考
1	会長	横井 光義	小池町 元小池町町内会会長 元吉浜公民館館長
2	副会長	内藤 充	屋敷町 防災Gリーダー
3	副会長	鈴木 康博	呉竹町 元呉竹町町内会会長
4	事務局長	内藤 皓嗣	八幡町 人形小路の会会長
5	副事務局長	下村 政明	呉竹町 元呉竹町町内会会長 プラザ防火管理者
6	書記	深尾 睦世	芳川町 元地域計画検討委員会事務局
7	会計	立川 好子	八幡町 高浜市赤十字奉仕団委員長
8	広報	神谷 和夫	屋敷町 広報Gリーダー
9	食育	前川 勉	八幡町 食育Gリーダー 地域計画推進
10	町内会代表	内藤 真治	八幡町・新田町町内会会長

吉浜まちづくり協議会を構成する公共的団体

吉浜まちづくり協議会を構成する公共的団体 (略：構成団体)		吉浜まちづくり協議会に 協力する企業	
No.	名 称	No.	名 称
1	八幡町・新田町町内会	1	イビデン（株）
2	小池町町内会	2	エヌティーツール（株）
3	屋敷町町内会	3	刈谷紙器（株）
4	呉竹町町内会	4	（株）シンダイ
5	芳川町町内会	5	（株）スズキゴム
6	吉浜細工人形保存会	6	スミヤ精機（株）
7	人形小路の会	7	高浜工業（株）
8	吉浜小学校	8	（株）デンソープレステック
9	高浜市民生委員児童委員協議会（吉浜地区）	9	トヨタ紡織精工（株）
10	高浜市健康づくり推進委員会（吉浜地区）	10	橋本電機工業（株）
11	高浜市赤十字奉仕団（吉浜地区）	11	日本ペイント オートモーティブ コーティングス（株）
12	高浜市消防団第3分団		
13	高浜安立荘	12	（株）フコク
14	ケアハウス高浜安立	13	（株）横井鉄工
15	JAあいち中央吉浜支店	14	吉浜人形（株）
吉浜まちづくり協議会と協働する公共的団体		15	豊田自動織機（誠美寮）
1	八幡クラブ	16	（株）中部
2	小池いきいきクラブ		
3	屋敷クラブ		
4	呉竹クラブ		
5	芳川クラブ		
6	高浜市立吉浜幼稚園		
7	高浜市立北部保育園		
8	吉浜保育園		
9	さんさん保育園		
10	吉浜射放弓保存会		

（2025.03.31現在）